

別記
第3号様式

京都府教育委員会教育長 様

令和5年3月17日

コミュニティ名 JISSENKEN!
代表者所属名 久御山町立久御山中学校
代表者職・氏名 教諭 奥野 温

京都府若手教員学び合いのコミュニティ育成支援事業報告書

次のとおり報告します。

1 コミュニティ名

J I S S E N K E N !

2 研究テーマ

中学校社会科における授業実践を通じた授業力の向上

3 研究の目的

京都府内（特に山城・乙訓教育局管内）に所属する経験年数15年目以下の社会科教員が日々の授業実践を定期的に公開・交流することで授業力の向上を図る。

4 研究の成果と課題

成果

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、特に「ICTを効果的に活用する授業」についての研究を進められた。
- ②京都府デジタル学習支援センター 居合先生をお招きして、より効果的な「ICTを活用した授業デザイン」「ICT教育における生徒や学校への効果」などについて知り、授業改善の視点からも大変有意義な機会となった。
- ③今年度も、教育局を越えた教員でコミュニティを構成できたこと、城陽久御山中学校教育研究会社会科部会と連携を図ることができ、京都府内社会科教員のネットワークをより広げることができた。

課題

- ① 3年間で築き上げたメンバー内の関係や他組織との連携を軸として、より一層勤務校や京都府内での社会科教員のネットワークを広げることが必要である。
- ② 今後も、本コミュニティメンバーが京都府の社会科中堅教員としての自覚をもち、リーダーシップを発揮しながら、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための研究に努めたい。

5 研究成果の波及方法

- ① 各校の研究授業での授業者を率先して行い、研究成果を波及する。
- ② 活動で得た知識や手法等を、勤務校や地域に広げる。

6 研究（活動）実績*

年月	研究（活動）内容（具体的に記載）	活動場所
令和4年12月	①研究授業 授業者：長谷川 一 教諭 ②事後研究会	京田辺市立田辺 中学校
令和5年1月	①研究授業 授業者：天野 洋平 教諭 ②講演「ICTを効果的に活用した協働的な学び」 講師：居合 佑樹 研究員 (京都府デジタル学習支援センター) ③事後研究会 ④本年度のまとめ	城陽市立南城陽 中学校